

令和2年度

第1回

# 進路説明会



田 尻 町 立 中 学 校

# 目 次

P2	1	進路選択にあたって
P6	2	進路関係の主な予定
P7	3	卒業後の主な進路
P8	4	進学について
P14	5	私立高校の入学者選抜について
P15	6	公立高校の入学者選抜について
P22		(資料1) 高校等進学のための奨学金等制度のご案内

# 1 進路選択にあたって

「進路」は「自分が進んでいく道」であり、自分の人生目標につながっていくものです。したがって、「進路選択」とは単に「進学先を決める」ことではありません。自分が未来に向かって「どう生きるか」「生きる力をどうつけていくか」ということを真剣に考え、決定し、実行していくことなのです。

生徒のみなさんには、何のために進学するのか、さらに将来どんな職業に就こうとするのかをしっかりと考えてほしいと思います。目的意識がはっきりしないままでは、たとえ進学しても学習意欲や向上心に欠け、成果を上げることは難しくなります。保護者の方の思いを踏まえたうえで、自分の進路を決定するのは自分自身です。学校はそれを前提に助言をしていきます。保護者・本人・学校の三者がしっかりと協力し、よりよい進路選択につなげていきましょう。

〈ポイント〉

## ①しっかりと情報収集する

進路決定のためには、正しい情報収集がたいへん重要です。毎年、進路に関する情報は変化していきます。知り合いの卒業生、兄姉のことは今の生徒にそのまま当てはまるとは限りません。そこで、最新の正しい情報の収集が大切になってきます。

主な情報としては次のものがあります。

- ・本人の学業成績・興味関心・適性
- ・保護者、学校、先輩のアドバイス
- ・進路説明会、学校からのプリント
- ・高校から本校に届いた高校のパンフレット等
- ・高校のオープンスクールや体験入学
- ・新聞・雑誌等の記事
- ・インターネットの情報

## ②最終決定は保護者・本人の判断

学校(担任)は求められれば、意見を述べ資料を提供しますが、決定者ではありません。また、絶対大丈夫などと言うこともできません。あくまでも参考意見です。それをご理解いただいたうえで、保護者と本人の責任において、あらゆる角度から十分に検討することが必要です。友人の進路、世間のうわさなどに惑わされず、しっかり子どもの将来を見据えて、正しい情報を収集し、家族の対話を繰り返すことで進路を最終決定してください。

〈生徒のみなさんにしてほしいこと〉

①自分をよく知る

これまでの経験、保護者や先生の意見を参考にして、自分自身を客観的に理解しましょう。好き嫌い・得意不得意・興味関心・向き不向き・性格など多面的に考えてみてください。テストの点数だけでなく、より多くの要素を集めて進路先を決めましょう。

②高校についてよく知る

中学校にある資料や高校のホームページを見たり、保護者や先生や先輩の話を聞くなどして、高校・学科・コース・特色をよく知るようにしましょう。高校のオープンスクールや体験入学に参加したり、多くの高校が集まる進学フェアに出向いてみるのもいいでしょう。

ほんとうに自分に向けた学校なのか、自分の力を伸ばせる学校なのかなど、それぞれの学校についてよく知りましょう。

③将来への展望を持つ

自分はどうしてその道を選ぶのか、目的意識と将来への展望を持ちましょう。「〇〇くん・さんも行くから」とか「何となく」といったいい加減な気持ちで進路を選択すると、後悔することになります。

④計画的に学習する

毎日の授業を大切にするとともに、下校後にしっかり学習時間を確保し、計画的かつ着実に学習を進めましょう。「3年の学習内容」＋「1・2年の学習内容」の2本柱の学習をバランスよく行いましょう。

⑤十分に話し合う

あなたの性格や適性、興味関心等についてよく知っている保護者や担任の先生と十分に話し合い、アドバイスを受けましょう。

## 〈保護者の役割〉

### ①広い視野で考える

子どもの進路は、他の子どもと比較すべきものでもありません。「人としての幸せとは何か。」について、折に触れて子どもと話し合う機会をもってください。

### ②大きな時間軸で考える

高校進学は人生のゴールではなく、通過点に過ぎません。「将来どんな職業生活をしていきたいのか、どのような人生を送りたいのか。」というところから話されてはどうでしょうか。子ども自身が将来の希望を見据えて積極的に選択していかないと、進学後の生活にもなかなか意欲的にはなれません。

### ③子どもが自分を知る機会を与える

大人の側ですべてお膳立てするのではなく、子どもが「自分が決める」「自分がする」場面を作り、責任を持つということについて考える経験をさせましょう。家庭の経済状況や自分を取り巻く条件なども、話だけでなく経験を通して理解させるようにされてはいかがでしょうか。それらによって子どもは自分自身や自分の周りの状況を体感的に知る機会を得ることができます。

### ④子どもが自分の人生を自分自身で切り開いていけるように

保護者は子どもといつまでも一緒にいるわけではなく、子どもはいつか独立しなければなりません。だから、自分の人生を自分自身で切り開いていく子どもに育てなければなりません。子ども自身が学習やさまざまな経験を通して、「生きる力」を身につけていくのを保護者は後押ししていくという考え方が大切だといえるでしょう。

## 〈学校の役割〉

### ①子どもの進路選択に際し、全力をあげて指導・助言します。

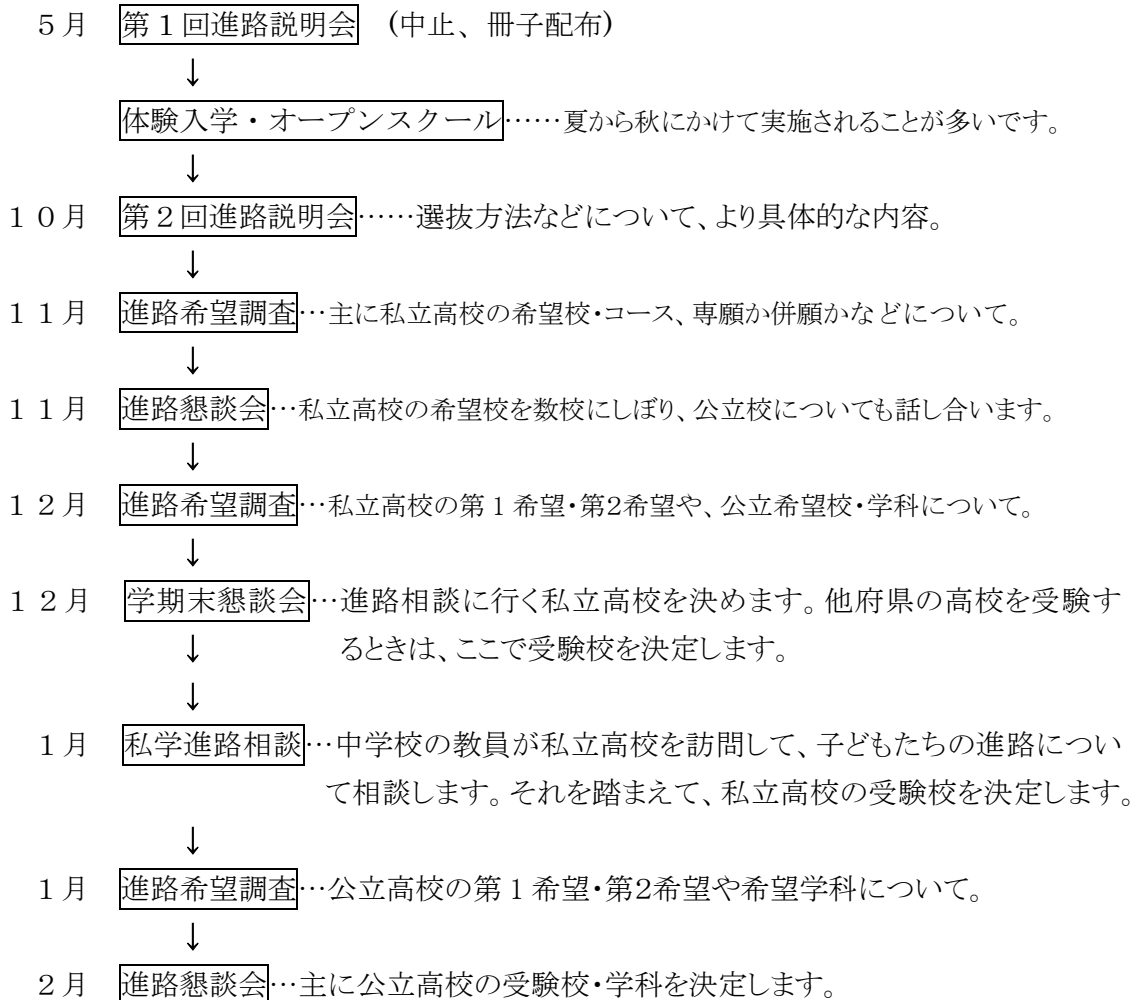
学校は生徒の進路選択に際し、本人・保護者に最大限の指導・助言をするとともに丁寧な相談を行います。相談は「あきらめさせる」「切り捨てる」ではなく、現状で最もよい方向を一緒に考えるものです。十分納得のいくまで、三者が話し合えるように努力します。

### ②生徒一人ひとりの学業成績・日常の様子など、相談の資料を用意しています。

### ③各高校のパンフレット等、進路関係のさまざまな資料を用意しています。

## 〈進路決定の過程〉

進路の決定までは、下記のような流れで進んでいきます。詳しい日時はその都度お知らせします。



※ 就職については、公共職業安定所と連携し、適切な時期に指導・相談を行います。

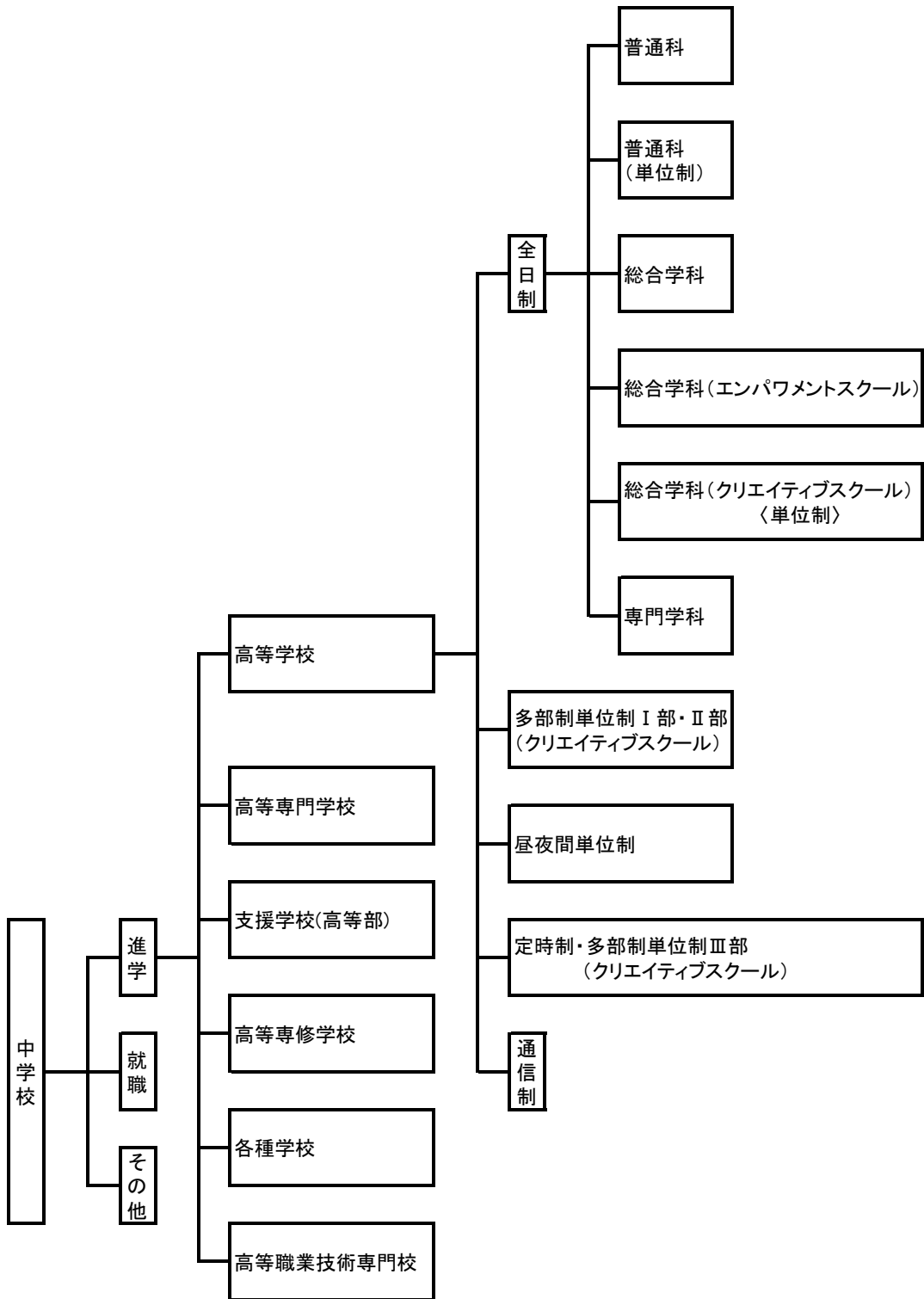
※ 新型コロナウイルスの感染拡大状況によって、大幅な変更もあり得ます。  
ご了承ください。

## 2 進路関係の主な予定

	テスト・入試関係	懇談・進路希望調査等
4月		
5月		第1回進路説明会 中止
6月		
7月	期末テスト 15日(水)～17(金)	
8月	第1回学力診断テスト 24日(月)・25日(火)	期末懇談会 3日(月)～6日(木)
9月		
10月	第2回学力診断テスト 1日(木) 中間テスト 15日(木)・16日(金)	進路希望調査 第2回進路説明会 30日(金)
11月	第3回学力診断テスト 2日(月)	進路懇談会 25日(水)～27日(金)
12月	期末テスト 2日(水)～4日(金) 面接練習	進路希望調査 期末懇談会 21日(月)～24日(木)
1月	第4回学力診断テスト 13日(水) 学年末テスト 27(水)～29(金)	私立進路相談 進路希望調査 私立出願 25日(月)
2月	大阪私立高校入試 10日(水)・11日(木) 公立特別選拔出願 15日(月)・16日(火) 公立特別選抜入試 18日(木)・19日(金) 第5回学力診断テスト 25日(木)26日(金)	公立特別選抜進路懇談会 4日(木) 公立一般選抜進路懇談会 24日(水)～26日(金)
3月	公立一般選拔出願 3日(水) 公立一般選抜入試 10日(水)	

※予定は変更が生じる場合があります。その場合は事前にお知らせします。

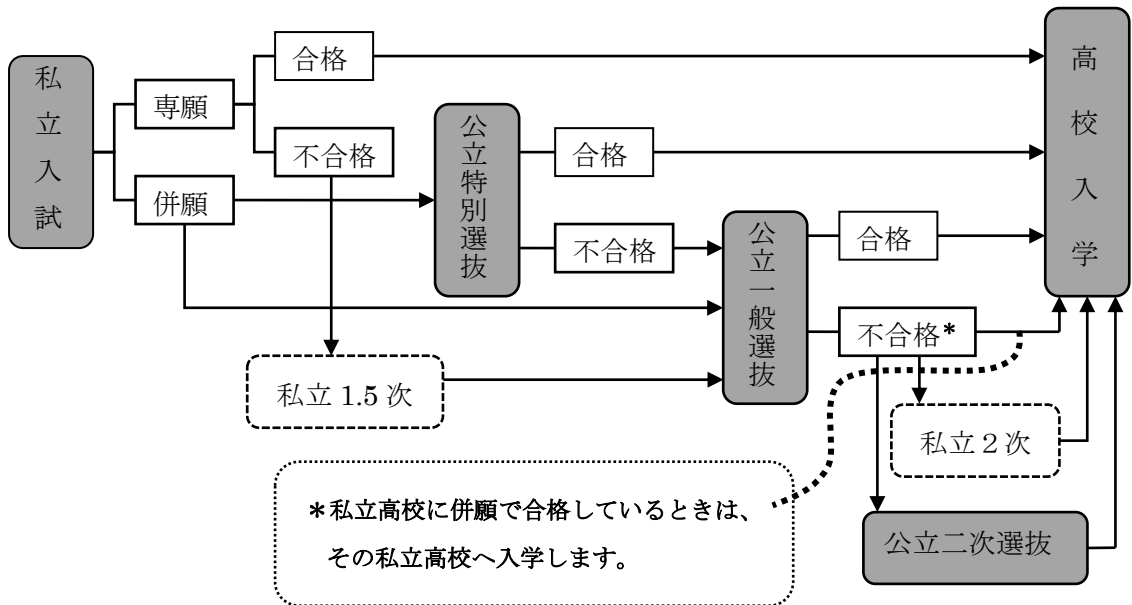
### 3 卒業後の主な進路





## 4 進学について

〈受験の流れ〉



### I 高等学校

(1) 設置者による分類

#### ①公立高校

都道府県や市町村が設置する高校です。大阪府内の公立高校の通学区域は府内全域です。男女共学です。近年、生徒の個性を尊重して伸ばしていく教育に目が向けられ、特色のある学科・学校が増えてきています。授業料は基本的に無償です。(ただし所得による例外あり。入学金や教科書代などの諸経費は別途必要です。)

#### ②私立高校

個人や民間団体がそれぞれ独自の教育理念を掲げて設立した高校で、特色ある教育をしています。宗教や自由主義、道徳を教育の精神としている学校もあります。スポーツや進学に特化したコースや美術・看護・調理などを深く学べるコースを設けるなど、学校によって特徴が異なります。一部の学校では男子のみ、女子のみの募集となっています。小・中・高・大の全部または一部で総合学園を作って、一貫教育をしているところもあり、このような高校では、系列の大学に進める優先枠を持っている場合があります。ただし学校によっては優先枠がわずかしかなかったり、希望する学部への入学枠がなかったりすることもあります。十分調べたうえで受験を検討する必要があります。

## 《私立高校選択の基準》

### 設備と教育内容

たいへん教育設備の整った私立高校が増えていますが、学校によって差がありますので、パンフレット等だけではなく、学校説明会やオープンスクールに参加して自分の目で確かめてください。また同じようなコース名でも教育内容は学校によって違います。よく調べるのが大切です。

### 学費

授業料に関しては、「高等学校等就学支援金制度（国）」と「私立高等学校等授業料支援補助金制度（大阪府）」によって軽減があります。ただ、入学金や制服代その他諸費用が公立高校と比べて高額になりがちです。奨学金の利用等も含めて年間どれくらいの費用がかかるのか、よく調べておく必要があります。

### 通学の便

泉南地域にある私立高校は多くなく、その他の地域にある私立高校に通う場合、通学時間が長くなりがちです。距離が長い分、交通費も高くなります。入学すれば3年間通うことになるので、交通の便や通学時間についてもよく調べておかねばなりません。

## ③国立高校

国立大学の教育学部の付属校であることがほとんどで、大学生の教育実習の場・新教育の実験校の性格を持っています。教育内容は公立高校の普通科と同じです。大阪府内では、大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎・平野校舎・池田校舎の3校があります。本体の国立大学への優先進学枠はありません。

## （2）課程による分類

- ①全日制の課程……中学校と同じく、朝から夕方までの日中に授業がある課程。
- ②定時制の課程……夜間その他特別の時間帯に授業がある課程。さまざまな事情で日中に授業を受けられない人、日中働きながら学びたい人等が多く学んでいます。通常は1日4時間程度の学習で、4年で卒業となります。通信制高校を併修するなどして3年で卒業できる場合もあります。
- ③通信制の課程……自宅での自主学習を基本とし、レポートを提出して添削指導を受けるほか、週に2～3回登校してスクーリング（面接指導）を受けて学習する課程。さまざまな事情で毎日学校に通うことは難しいが高校で学びたい人が多く学んでいます。他校で習得した教科・科目の単位が卒業に必要な単位として認定してもらえる場合があります。

### (3) 学科による分類

#### ① 普通科

中学校の学習を基礎に「国語・地理歴史・公民・数学・理科・保健体育・芸術・外国語・家庭・情報」という「普通教育に関する各教科」による教育活動が行われている高校です。

#### ② 普通科単位制

基本的には普通科と同じく、「普通教育に関する各教科」による教育活動が行われている高校ですが、生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等に応じた多様な選択科目を開設しています。学年の概念がなく、決められた単位数以上を取れば卒業できます。

#### ③ 総合学科

普通科・専門学科の両方の性格を持つ学科です。必修科目以外は生徒の興味・関心・進路の希望などに基づいて、学校によっては100科目以上の選択科目の中から、自分の勉強したい科目を選ぶことができます。学校から与えられた時間割ではなく、自分で時間割を作って学習を進めていきます。

#### ④ 総合学科(エンパワメントスクール)

「学び直し」に力点を置き、1年生では、国数英の3教科を1・2時間目の時間帯に30分×3の授業として毎日継続して学習することにより、学力向上を図ります。タブレットや電子黒板などを活用したわかりやすい授業を行っています。グループ学習や参加体験学習で、忍耐力や互いを思いやる気持ちなど人間関係を育成しています。進学や資格取得をサポートするため、大学受験に対応した科目や資格取得に必要な専門的な科目も設置しています。

#### ⑤ 総合学科(クリエイティブスクール)

学習内容はおおむね③総合学科と同じですが、こちらは学年の概念がない単位制の高校となっていますので、決められた単位数以上を取れば卒業できます。午前4時間、午後4時間の授業が行われています。午前・午後のどちらかの4時間の授業を受けて4年間で卒業することもできますし、1日8時間の授業のうち、連続する6時間の授業を受けて3年で卒業することもできます。学ぶ時間帯を選べるのが特徴となっています。

#### ⑥ 多部制単位制Ⅰ部・Ⅱ部(クリエイティブスクール)

学習内容はおおむね①普通科と同じですが、こちらは学年の概念がない単位制の高校となっていますので、決められた単位数以上を取れば卒業できます。午前4時間(Ⅰ部)と午後4時間(Ⅱ部)の授業が行われています。午前・午後のどちらかの4時間の授業を受けて4年間で卒業することもできますし、1日8時間のうち、連続する6時間の授業を受けて3年で卒業することもできます。入学選抜時にⅠ部とⅡ部のどちらに所属するかを選択します。

## ⑦ 昼夜間単位制

学習内容はおおむね①普通科と同じですが、商業系専門学科のビジネス科もあります。こちらでも学年の概念がない単位制の高校となっていますので、決められた単位数以上を取れば卒業できます。多彩な科目の授業が用意されています。朝から夜間にいたるまでの幅広い時間帯に授業が行われており、一日4時間の授業を受けて4年間で卒業することもできますし、一日6時間の授業を受けて3年で卒業することもできます。

## ⑧ 定時制・多部制単位制Ⅲ部(クリエイティブスクール)

定時制の高校と多部制単位制Ⅲ部(クリエイティブスクール)の高校では、どちらも夕方から夜間にかけて4時間授業があります。定時制の多くの学校では学年の概念がない単位制がとられています。多部制単位制では入学選抜時にⅢ部を選択して入学となります。どちらも卒業に要する年数は4年ですが、他校の通信制の課程を併修すること等により3年で卒業することができます。また、多部制単位制Ⅲ部(クリエイティブスクール)の高校では、自校のⅠ部(午前)やⅡ部(午後)の授業をあわせて履修することにより、3年で卒業する方法もあります。

## ⑨ 専門学科

一般的な教科に加えて、その科に応じた専門的な内容の学習や実習行う学科です。志望にあたっては、本人の適性と将来の進路についてよく考える必要があります。

## II 高等専門学校

高等専門学校は、5年間(商船高等専門学校は5年半)の一貫教育により、専門技術者を養成する高等教育機関です。基礎学力から大学工学部レベルの工業技術を学ぶことができます。現在、全国で57校(国立51・公立3。私立3)があり、各専門分野で教授陣の指導のもとに、充実した実験研究施設を使って、理論だけでなく実験・実習を重視した教育が行われています。大きくは工業系と商船系の学科に分かれ、工業系の学科には、機械工学科、電気工学科、電子制御工学科、情報工学科、物質工学科、建築学科、環境都市工学科などがあり、商船系の学科には商船学科があります。工業系、商船系以外にも経営情報学科、情報デザイン学科、コミュニケーション情報学科、国際流通学科を設置している学校もあります。卒業時は短期大学を卒業したのと同じ扱いになります。引く手あまたの求人がありますが、更に学びたい人には大学の3年次に編入する制度もあります。入学試験は2月中～下旬の日曜日に全国一斉に同一問題で行われる学力検査による選抜と、その前に実施される推薦入試やAO入試、面接と小論文による選抜があります。大阪府内には、大阪府立大学工業高等専門学校、近県には明石工業高等専門学校(国立)、神戸市立工業高等専門学校、奈良工業高等専門学校(国立)、和歌山工業高等専門学校(国立)などがあります。

### Ⅲ 支援学校高等部・高等支援学校等

#### ・支援学校高等部

障がいの状況に応じて支援学校が設置されています。田尻町の通学区となっている学校では、泉南支援学校（知的障がい）・岸和田支援学校（肢体不自由）・中央聴覚支援学校、だいせん聴覚高等支援学校（聴覚障がい）・大阪南視覚支援学校（視覚障がい）に高等部があります。

#### ・職業学科を設置する知的障がい高等支援学校

就労を通じた社会的自立をめざす教育課程を編成した、高等部のみの支援学校が5校設置されています。職業に関する専門の学科を設置しており、卒業後の就労をめざし職業教育の充実を図っており、近くでは、すながわ高等支援学校があります。出願には療育手帳の所持が必要です。

#### ・公立高校 知的障がい生徒自立支援コース

高等学校のカリキュラムや授業内容を工夫し、知的障がいのある生徒が高校に在籍し、他の生徒とともに高校生活を送るコースが11校に設置されています。近くでは貝塚高校に設置されています。出願には療育手帳の所持が必要です。

#### ・公立高校 共生推進教室

職業学科を設置する知的障がい高等支援学校の共生推進教室が10校に設置されています。生徒は高等支援学校に所属しながら週4日は共生推進教室が設置されている高校に通い、週1日は高等支援学校で学びます。近くでは、すながわ高等支援学校の共生推進校として久米田高校と信太高校に共生推進教室が設置されています。出願には療育手帳の所持が必要です。

## IV 高等専修学校

中学校を卒業してから入学する「高等課程」を設置する専修学校は「高等専修学校」と称することができます。主に職業や実際の生活に必要な力を育てることを目的として実務教育を行う学校で、修業年限は1年以上とされています。3年制の高等専修学校の多くで、通信制の高校と連携して高校卒業資格が得られる道が用意されています(ただし通信制の高校の学費が必要です)。また、大学の受験資格が得られる学校もあります。

## V 各種学校

服飾、料理、看護、事務、経理、コンピュータ、英会話など、学校教育に類する教育を行う施設です。高校卒業資格を得ることはできません。

## VI 高等職業技術専門校

職業に必要な知識や技能を身につけ、就職に役立てるため、6か月、1年、2年という期間の中で職業訓練を行う施設です。ただ、中学校卒業者を対象とする講座は非常に限られています。高校卒業資格を得ることはできません。公共職業安定所(ハローワーク)を通して応募します。近くには、大阪府立南大阪高等職業技術専門校(和泉市)があります。

## 5 私立高校の入学者選抜について

### ① 専願か併願か

**専願** 合格すれば必ず、その私立高校に入学することを意思表示して受験します。

- ・同時に2つの高校を専願で受験することはできません。
- ・ほとんどの私立高校が専願者の合格最低点を併願者より低く優遇しています。
- ・合格すれば、他の私立高校・公立高校を受験することはできません。
- ・不合格の場合は、他の私立高校・公立高校を受験できます。

**併願** 2つ以上の高校を受験し、第1志望の学校に合格すれば、他の高校には合格したとしても入学しないという受験のしかたです。公立高校が第1志望で私立高校が第2志望のときや、大阪府の私立高校と他府県の私立高校とを合わせて受験する場合などはこちらになります。

- ・ほとんどの私立高校では、専願者より合格最低点を高くしています。
- ・公立高校に合格した場合、併願で合格した私立高校へは入学できません。
- ・公立高校に不合格の場合のみ、併願で合格した私立高校に入学できます。

② 受験校の決定……11月の進路懇談会で希望校を数校にしぼり、12月の学期末懇談会で進路相談に行く私立高校を決めます。1月に中学校教員が各私立高校を訪問し、進路相談をします。それを踏まえて、1月中旬ごろには受験校を最終決定します。

③ 出願……高校により1月下旬～2月上旬ごろと幅がありますが、本校では1月25日(金)に一斉出願を予定しています。

④ 試験日……大阪府内私立高校 令和3年2月10日(水)・11日(木)

〈参考〉和歌山2月1日(土)、2日(日)・奈良2月6日(土)、兵庫・京都は大阪と同日。

⑤ 選抜方法……学力検査(＋面接)＋実技テスト＋個人報告書(中学校が作成)

※ 学校・コース・専願か併願か等により異なります。

→合否の判定は、中学校が作成する「個人報告書」(9教科の評定・所見等を記載)、学力検査の得点、面接(実施する場合)、実技テスト(実施する場合)などによって総合的に行われます。近年、面接を重視する学校が増えています。

## 6 公立高校（大阪府内）の入学者選抜について

- ・ 選抜の種類…… 2月に実施される「特別入学者選抜」と3月に実施される「一般入学者選抜」および合格者が募集人数に満たない場合に実施されることがある「二次入学者選抜」（3月下旬）があります。
- ・ 受験校の決定…… 「特別入学者選抜」の受験校は2月上旬の進路懇談会で、「一般入学者選抜」の希望校は2月下旬の進路懇談会で決定しますが、私立高校を決定するころ（1月中旬ごろ）には決めておくのがよいでしょう。
- ・ 合格者の決定方法…… 「特別入学者選抜」（実技検査を行う場合）と「一般入学者選抜（通信制の課程を除く）」とでは、「学力検査（+実技検査）の成績」と「調査書の評定」を合算したものを総合点とします。総合点が高い者の順に募集人員の110%に相当する者をⅠ群とします。Ⅰ群の中で総合点が高い者から募集人員の90%に相当する者を合格とします。

Ⅰ群の中で合格が決まっていない者をⅡ群（ボーダーゾーン）とし、「自己申告書」および調査書の「活動/行動の記録」の記載内容が、高校側のアドミッションポリシー（求める生徒像）に極めて合致する者を、総合点の順位に関わらず、優先的に合格させるとしています。

また、「特別入学者選抜（面接を行う場合）」は、募集人員の上限50%までは学力検査の成績が一定以上だった（学力検査の国・数・英すべてで基準点をクリアした）受験生のうち、面接・自己申告書・調査書の内容が、その高校のアドミッションポリシーに最も適合する者から順に合格とし、募集人員の残りは「学力検査の成績」と「調査書の評定」を合算したものを総合点として、総合点の高い者から合格させるとしています。

（例）全日制の課程総合学科（エンパワメントスクール）

岬高校・和泉総合高校など



- ・学力検査……「特別入学者選抜」「一般入学者選抜」とも、学力検査は原則5教科（国語・社会・数学・理科・英語〈リスニング含む〉）での実施になります（ただし、「一般入学者選抜」の「定時制」と「多部制単位制Ⅲ部（クリエイティブスクール）は国・数・英3教科での実施、「通信制の課程」は面接のみ）。また、国語・数学・英語は、難易度別に、「特別入学者選抜」では2種類、「一般入学者選抜」では3種類の問題が用意されます。各高校が使用する問題の種類は、事前に公表されます。（7月頃公表予定）

※ 複数の学科を設置している高校は、全学科同一の問題を使用します。

- ・調査書の評定……入学者選抜の際、多くの場合において、中学校が作成する「調査書」の各教科の「評定」が選抜の判定資料とされます。  
各教科の評定は、学習指導要領に示された目標がどの程度達成されたかを見る「目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）」によるものです。  
中学1年から3年までの全学年における評定が対象とされます。算入の際の比率は（第1学年：第2学年：第3学年＝1：1：3）です。全9教科の評定が同じ重みで点数化されます。  
「学力検査」と「調査書」が選抜の判定資料とされる場合、「学力検査」と「調査書」の評定の点数化にあたっては、その重み付けの比を[3:7]、[4:6]、[5:5]、[6:4]、[7:3]の5つのパターンから、各高校が選択することになっています。
- ・自己申告書の提出……受験生は、あらかじめ府教委が提示したテーマについて、中学校での生活や学習、高校生活における抱負などを文章にし、出願時に提出します。自己申告書は「特別入学者選抜」（面接を行う場合）や、ボーダーゾーン（募集人数の上下10%）内の判定資料に使われます。
- ・複数の学科の志望……例えば、和泉高校の「グローバル科」と「普通科」のような複数の学科を設置している高校では、第1志望「グローバル科」、第2志望「普通科」のように、複数の学科を志望することが認められています。

・英語資格（外部検定）の活用

……学力検査「英語」において、外部機関が認証した英語力判定テスト（TOEFL iBT、IELTS 及び実用英語技能検定（英検）が対象）のスコア等を活用することができます。

受験者の持つスコア等を下表により換算した点数と、英語の学力検査の点数とを比較し、高い方の点数を当該受験者の英語の学力検査の成績とするものです。

この制度を活用する志願者は、スコア等を証明する証明書の写しを出願時に志願先高等学校長に提出する必要があります。

なお、英語資格（外部検定）の活用については、「基礎的問題」「標準的問題」「発展的問題」のすべての検査問題が対象になります。

TOEFL iBT	IELTS	実用英語技能検定	読み替え率
60 点～120 点	6.0～9.0	準1級・1級	100%
50 点～59 点	5.5	（対応無し）	90%
40 点～49 点	5.0	2級	80%

- ・追検査……一般選抜に出願した志願者のうち、学力検査等の当日にインフルエンザ等の出席停止の扱いが定められている感染症に罹患し、当日すべての検査を受験できなかった人は追検査を受験することができます（検査を一部でも受験した人は対象外）。この制度を利用するためには、学力検査当日に感染症に罹患していたことを証明する書類を添えて、あらためて一般選抜の時に志願した高校に追検査の出願をしなくてはなりません。

〈出願日〉未定

〈出願場所〉

一般選抜の志願先高等学校	出願場所
大阪府立の高等学校	大阪府新別館南館8階大研修室
大阪市立の高等学校	大阪市役所3階教育委員会事務局第2会議室
岸和田市立産業高等学校	岸和田市立産業高等学校

〈検査日〉未定

〈検査場所〉

一般選抜の志願先高等学校	検査場所
大阪府立の高等学校	大阪府立大手前高等学校
大阪市立の高等学校	大阪市立中央高等学校
岸和田市立産業高等学校	岸和田市立産業高等学校

		選抜の種類	出願期間	学力検査等
特別入学者選抜	全日制の課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業に関する学科 (建築デザイン科・インテリアデザイン科・プロダクトデザイン科・映像デザイン科・ビジュアルデザイン科・デザインシステム科)</li> <li>グローバル探究科</li> <li>体育に関する学科</li> <li>演劇科</li> <li>美術科</li> <li>芸能文化科</li> <li>総合造形科</li> </ul>	2月15日(月)及び2月16日(火)	学力検査 2月18日(木) 実技検査 2月19日(金)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽科</li> </ul>	2月2日(火)及び2月3日(水)	視唱、専攻実技 2月14日(日) 学力検査、聴音 2月18日(木)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>総合学科(エンパワメントスクール)</li> </ul>	2月15日(月)及び2月16日(火)	学力検査 2月18日(木) 面接 2月19日(金)
	多部制単位制Ⅰ部・Ⅱ部(クリエイティブスクール) 昼夜間単位制			

※ 下記の高校名は昨年のもので、本年分は6月下旬ごろ発表されます。

(1) 全日制の課程(総合学科(エンパワメントスクール)を除く。)

学科名等		高等学校名	
		府立	市立
工業に関する学科	建築デザイン科 インテリアデザイン科 プロダクトデザイン科 映像デザイン科 ビジュアルデザイン科	_____	市立工芸
	デザインシステム科	_____	岸和田市立産業
	グローバル探究科	_____	市立水都国際
	美術科	_____	市立工芸
	体育に関する学科	摂津、大塚	市立桜宮、市立汎愛
	芸能文化科	東住吉	_____
	演劇科	_____	市立咲くやこの花
	音楽科	夕陽丘	_____
	総合造形科	港南造形	_____

(注) 「市立」欄で、岸和田市立の高等学校以外は大阪市立の高等学校。

(2) 全日制の課程総合学科(エンパワメントスクール)

学科名	高等学校名
	府立
総合学科	淀川清流、成城、西成、長吉、箕面東、布施北、和泉総合、岬

(3) 多部制単位制Ⅰ部・Ⅱ部（クリエイティブスクール）及び昼夜間単位制

課程等・学科名	高等学校名	
	府立	市立
多部制単位制Ⅰ部・Ⅱ部 普通科	桃谷	_____
昼夜間単位制 普通科 ビジネス科	_____	市立中央

(注) 「市立」欄は、大阪市立の高等学校。

一般入学者選抜 令和3年度日程

	選抜の種類	出願期間	学力検査等
一般入学者選抜	全日制の課程 ・普通科（単位制高等学校を含む。） ・商業に関する学科 ・グローバルビジネス科 ・農業に関する学科 ・工業に関する学科（特別選抜実施学科を除く。） ・教育情報科・英語科 ・国際教養科 ・国際文化科・グローバル科 ・英語探究科 ・理数科・総合科学科 ・サイエンス創造科 ・文理学科・福祉ボランティア科・食物文化科 ・総合学科（クリエイティブスクールを含み、エンパワメントスクールを除く。）	3月3日(水) 3月4日(木) 及び 3月5日(金)	学力検査等 3月10日(水)
	多部制単位制Ⅲ部（クリエイティブスクール） 定時制の課程		
	通信制の課程	2月28日(日) 3月2日(火) 3月3日(水)	面接 3月7日(日)、8日(月)、 9日(火)のうち一日

※ 下記の高校名は昨年のもので。本年分は6月下旬ごろ発表されます。

(1) 全日制の課程（総合学科（クリエイティブスクール）を除く。）

学科名等		高等学 校 名	
		府 立	市 立
普通科		東淀川、旭、茨田、清水谷、夕陽丘、港、勝山、阿倍野、東住吉、平野、阪南、池田、洪谷、桜塚、豊島、刀根山、箕面、春日丘、茨木西、北摂つばさ、吹田、吹田東、北千里、山田、三島、高槻北、芥川、阿武野、大冠、摂津、島本、寝屋川、西寝屋川、北かわち鼻が丘、枚方、長尾、牧野、香里丘、枚方津田、守口東、門真西、野崎、緑風冠、交野、布施、花園、かわち野、みどり清朋、山本、八尾、八尾翠翔、大塚、河南、富田林、金剛、懐風館、長野、藤井寺、狭山、登美丘、泉陽、金岡、東百舌鳥、堺西、福泉、堺上、美原、泉大津、信太、高石、和泉、久米田、佐野、日根野、貝塚南、りんくう翔南、泉鳥取	市立東、市立桜宮、市立汎愛、大阪市立、東大阪市立日新
普通科 (単位制高等学校)		市岡、大阪府教育センター附属、槻の木、鳳	—————
学科 商業 に 関 す る	商 業 科	—————	市立淀商業、市立住吉商業、市立鶴見商業、東大阪市立日新岸和田市立産業
	流通経済科	—————	市立西
	マネジメント創造科	—————	堺市立堺
グローバルビジネス科		—————	市立大阪ビジネスフロンティア
農業に関する学科		園芸、農芸	—————
工業に関する学科 (特別選抜実施学科を除く。)		淀川工科、西野田工科、今宮工科、茨木工科、城東工科、布施工科、藤井寺工科、堺工科、佐野工科	市立都島工業、市立生野工業、市立泉尾工業、市立東淀工業、堺市立堺
情 報 科 学 科		—————	市立西
英 語 科		—————	市立東、大阪市立、市立西、市立南、東大阪市立日新
国 際 教 養 科		旭、枚方、花園、長野、佐野	—————
国 際 文 化 科		住吉、千里、泉北	—————
グ ロ ー バ ル 科		箕面、和泉	—————
国 語 科		—————	市立南
理 数 科		—————	市立東、大阪市立
総 合 科 学 科		住吉、千里、泉北	—————
サイエンス創造科		—————	堺市立堺
文 理 学 科		北野、大手前、高津、天王寺、豊中、茨木、四條畷、生野、三国丘、岸和田	—————
福祉ボランティア科		—————	市立淀商業

食 物 文 化 科	—————	市立咲くやこの花
総 合 学 科	柴島、大正白稜、今宮、千里青雲、福井、芦間、枚方なぎさ、門真なみはや、枚岡樟風、八尾北、松原、堺東、成美、伯太、貝塚	市立扇町総合、市立咲くやこの花

(注) 「市立」欄で、堺市立、東大阪市立及び岸和田市立の高等学校以外は大阪市立の高等学校。

(2) 全日制の課程総合学科 (クリエイティブスクール)

学 科 名	高 等 学 校 名	
	府 立	
総 合 学 科	東住吉総合	

(3) \*多部制単位制Ⅲ部 (クリエイティブスクール) 及び定時制の課程

学 科 名 等		高 等 学 校 名	
		府 立	市 立
普 通 科		大手前、桜塚、春日丘、寝屋川、布施、三国丘	大阪市立都島第二工業
す る 学 科 商 業 に 関 する 学 科	商 業 科	—————	岸和田市立産業
	マネジメント創造科	—————	堺市立堺
工業に関する学科		—————	大阪市立都島第二工業、 大阪市立第二工芸、堺市立堺
総 合 学 科		西野田工科、今宮工科、茨木工科、藤井寺工科、堺工科、佐野工科、成城、和泉総合	—————
*普 通 科 (クリエイティブスクール)		桃谷	—————

(4) 通信制の課程

学 科 名	高 等 学 校 名	
	府 立	
普 通 科	桃谷	

中学3年生及び保護者の皆さまへ

## 高校等進学のための奨学金等制度のご案内(概要)

- 高校等へ進学する際には、入学費や制服代等を納付する必要があります。
- 高校等への進学にあたり、次のとおり奨学金や貸付金の制度があります。
- 概要のみ記載していませんので、詳細については、各機関、市町村等に直接ご確認ください。

### 1 大阪府奨学金奨学基金

名称・問い合わせ先	賞 格	貸 付 額
<p>大阪府奨学金奨学基金貸付</p> <p>公益財団法人大阪府奨学基金 電話10616357-6272 http://www.fu-fund.or.jp</p> <p>※内容については、令和2年度入学生を対象とした貸付内容です。令和2年7月から奨学金貸付制度が変更されることに伴い、今後変更となる場合があります。</p>	<p>保護者(父母等)が大阪府内であって、下記所得基準(保護者所得名義)を満たし、高等学校等に進学を希望、又は在籍する生徒の方</p> <p>(※1)年初めの時点で、保護者のうちどちらか一方が働き、高校生1人(16歳以上)と中学生1人の4人世帯の場合のみです。 (※2)ただし、進路選択奨学助成金と市町村奨学所得助成金の名義(保護者名義)により判定します。</p>	<p>下記(貸付額年度(年額))の範囲内で希望する額(1万円単位)(無利息)</p> <p>○申請時期 ・予約奨学金(奨学金会・入学時進路奨学資金とも) 中学校3年生の9月上旬～10月上旬まで 各学校が定める期間 ・在学奨学金(奨学金会のみ(※2)) 高校等在学中の4月中旬～5月上旬まで 各学校が定める期間 (※2)入学時進路奨学資金は、進学後に申込みできません。</p>
<p>【奨学資金】</p>	<p>【所得基準】</p> <p>1 国公立・私立とも 進路選択奨学助成金と市町村奨学所得助成金の合計 418,500円未満 (※1)初めの時点で181,800円未満)</p> <p>2 私立のみ 進路選択奨学助成金と市町村奨学所得助成金の合計 418,500円以上578,500円未満 (※1)初めの時点で800万円以上1,000万円未満)</p>	<p>【貸付額年度】</p> <p>1 国公立・私立とも 進路選択奨学助成金(※3)と予備教育費10万円 (進路選択奨学助成金が専修奨学となる場合は、10万円)</p> <p>2 私立のみ 24万円 (進路選択奨学助成金(※3)が24万円を下回る場合は、その額が上限。府内の私立高校生を含む2人以上の子どもを扶養する年収300万円以上の世帯が大阪府奨学助成金や進路選択奨学助成金の給付を受ける場合は、貸付額年度が異なる。もしくは貸付対象外となる場合があります。)</p> <p>(※3)各校の授業料年額から、国の奨学金委員会や大阪府奨学助成金推進基金、学校独自の奨励金を差し引いた、実質的な授業料負担額をいいます。</p>
<p>【入学時進路奨学資金】</p>	<p>【所得基準】</p> <p>国公立・私立とも 進路選択奨学助成金と市町村奨学所得助成金の合計 257,500円未満(※1)初めの時点で)</p>	<p>【貸付額年度】</p> <p>国公立：5万円以内(普通制課程も含む) 私 立：25万円以内(普通制課程は15万円以内)</p>

※ 上述された奨学金は、貸付金の奨学金の貸付となります。約款ごとの返済が困難な場合は、速やかに大阪府奨学基金に連絡ください。

### 2 その他の奨学金・貸付制度(主なもの)

名称・問い合わせ先	賞 格	貸 付 額
<p>市町村の奨学金 お住まいの市町村</p>	<p>奨学金制度の有無・内容等については、</p>	<p>直接お住まいの市町村にお尋ねください</p>
<p>生活福祉資金貸付制度 教育支援資金 (教育支援費・就学支援費)</p> <p>(付帯)大阪府社会福祉協議会 電話10616762-9474 http://www.osakafu-wakyo.or.jp</p>	<p>・大阪府内に居住していること(居住者と住所が一致していること)。 ・他から必要な資金の融資を受けることが困難な低所得世帯 (他の制度による貸付が可能な場合には、他の制度を優先して活用していただくことになります。)</p>	<p>・教育支援費(月額)(無利息) 高校 … 35,000円以内 高等学校 … 60,000円以内 ※時にお要と認められる場合に限り、1.5倍の額まで引き上げ可能</p> <p>・就学支援費(無利息) 500,000円以内 ※入学年度の4月末までに申し込みが必要があります ○居住地の市町村社会福祉協議会への事前相談が必要</p>
<p>母子・父子・寡婦福祉資金貸付制度 (奨学資金・就学支援資金)</p> <p>子を扶養する親が居住する市町の福祉事務所等(福祉事務所の設置されていない市町村にお住まいの方は母子ども家庭サポート) http://www.pref.osaka.lg.jp/kat-shihen/hoonikatai/koshikuon.htm ※条件により貸付できない場合や貸付まで時間を要しますのでお早めに相談ください。</p>	<p>・20歳未満の子を扶養する母子家庭の母及び、父子家庭の父、寡婦(配偶者の無い女性で、かつ母子家庭の母だった方)が扶養する子 ・父母の無い20歳未満の児童 ※返済能力のある母や父、第三者を連帯保証人に設ける場合、子どもが世主として貸付申請できることもあります</p> <p>※20歳未満の子が在籍する場合、法定代理人の署名が必要 ※返済能力を有すること</p>	<p>・貸学資金：原則なし(月額) ※私立・自宅通学の場合 高校・高等 45,000円以内 (高校授業料実質無償化は貸付対象外) ・奨学支援資金：原則なし(入学時のみ) ※私立・自宅通学の場合 高校・高等 410,000円以内 ○貸付額年度は3年度、私立、自宅・自宅外等の区分により異なります。 ○大阪府奨学基金との併用については、貸付額に制限があります。 ○必要かつ返済可能な範囲での貸付額となります。 ○優遇後(返済後) 年5.0%となります。 ※令和2年4月から5月貸付制度は、連帯利率等が変更となります。詳細はホームページをご覧ください。</p>

裏面もご覧ください

名称・問い合わせ先	賞 額	賞 与 額
<p>大阪府公立高等学校 定時制課程及び通信制課程 給付奨励費</p> <p>府教育庁教育振興課 高等学校課</p> <p>中央区大平町3-2-12 電話 069 684 1-0351 内線 3432</p>	<p>1 大阪府の区域内にある公立高等学校の定時制課程又は通信制課程に在学している35歳未満の者であること。</p> <p>2 経済的理由により著しく進学が困難な者であって、生徒本人及び保護者（前後者等）それぞれの進路希望別・市町村政府所定金額の合計額が85,500円未満の者であること。 また、令和2年4月1日時点で生徒に保護者がいない場合は、当該生徒本人の進路希望別・市町村政府所定金額の合計額が85,500円未満の者であること。</p> <p>3 経済的収入を得る職業に就いている者であり、原則として年間120日以上勤務していること。</p> <p>4 大阪府教育委員会の奨学金の賞与を受けていない者であること。</p> <p>5 原則として4年間を修了し卒業までに至る学習計画を有すると認められる者であること（科目の履修状況、修得単位数等が一定以上であること）。</p>	<p>①賞与額 月額9,000円に、申請年度の在学期数を乗じた額を賞与します。</p> <p>※ 奨学のための給付金を給付される場合は、上記の賞与額から奨学のための給付金の給付決定額を減じた額が賞与額となります。 また、教育用図書購入代金相当分の額を、上記の賞与額に加算する場合があります。</p> <p>②返還免除 1 高等学校の定時制課程若しくは通信制課程を卒業した場合は、又はその他これに準ずると認められる場合 2 転勤その他やむを得ない理由により退学した場合 3 死亡、疾病、災害その他やむを得ない理由により給付奨励費を返還することが困難であると認められる場合</p> <p>③申請時期 10月上旬～10月下旬（予定） ④賞与決定時期 12月中旬（予定）</p>
<p>交通通院奨励金奨励費 （公財）交通通院奨励金 〒571 08 (0120) 521266 <a href="https://www.kats.com">https://www.kats.com</a></p>	<p>保護者等が道路における交通事故で死亡したり、重い後遺症等を受けていないために、経済的に進学が困難な生徒・学生 （申請時25歳までの人） 世帯基準 高校・高等 世帯収入が780万円以下の方 ※給与以外の所得者の世帯は380万円以下の方</p>	<p>・奨学金（月額）（無利息） 高校・高等・専修学校高等課程 2万円、3万円、4万円から選択 ・入学一時金（無利息、1生半時のみ） 高校・高等・専修学校高等課程 20万円、40万円、60万円から選択</p>
<p>あしなが奨学費 あしなが奨学費 電話 0120 777-8565 <a href="http://www.ashinaga.org/">http://www.ashinaga.org/</a></p>	<p>保護者等が病気や災害で道路における交通事故を除く、自死（自殺）などで死亡、または重い障害（1～5級）を負い、教育費に困っている家庭の生徒・学生</p>	<p>・奨学費（月額）（賞与部分は無利息） 高校・高等（1～3年生） 国公立—45,000円 （の賞与 25,000円、給付 20,000円） 私立—50,000円 （の賞与 30,000円、給付 20,000円） ・私立高校入学一時金（無利息、予約採用者に限る） 500,000円（賞与） ・進学支援一時金（無利息、高校奨学生で翌年4月に①位制度と併用で給付） ・入学準備金（無利息） 公立高校・高等専門学校 100,000円 私立高校・専門学校 200,000円 ・奨学金（無利息） 毎月月額2万円まで</p>
<p>大阪交通通院奨励金奨励費 （公財）大阪交通通院奨励金 電話 (06) 6761-5296 <a href="http://www.pansy.or.jp/">http://www.pansy.or.jp/</a></p>	<p>・大阪府内在住で保護者を交通事故で亡くされた交通通院の方</p>	<p>・入学準備金（無利息） 公立高校・高等専門学校 100,000円 私立高校・専門学校 200,000円 ・奨学金（無利息） 毎月月額2万円まで</p>
<p>日本政策金融公庫 （国の教育ローン） 日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター 電話 (0570) 006656 または (03) 5321-8656 <a href="https://www.jfc.go.jp/">https://www.jfc.go.jp/</a></p>	<p>保護者の世帯の年間収入（所得）が次の金額以下であること 子どもの数 給与所得者（専業主婦者） 1人 790万円（590万円） 2人 890万円（690万円） 3人 990万円（770万円） 4人以上 コールセンターにお問い合わせください。</p> <p>※子供の人数が2人以下で世帯の年間収入（所得）が上記額を超える場合でも、世帯の年間収入が990万円（所得770万円）以内の場合、申込対象になる場合があります。詳しくはコールセンターにお問い合わせください。</p>	<p>生徒1人につき35.0万円以内 利率 年 1.66%（令和2年3月現在） 返済期間 15年以内 （交通通院家庭、母子家庭や父子家庭または世帯年収（所得）200万円112.2万円以内の方などについては18年以内）</p>
<p>ビューファイナンスおおさか高校入学準備金奨励費 府内市町村の連絡相談窓口 又は 府教育庁高等学校課 電話 06946-7599</p>	<p>・大阪府教育委員会の奨学金（予定）者で、奨学金が賞与される前に入学料や授業料等を支払う必要がある方 ・他の賞付制度を利用することができない方 ※連帯保証人が必要</p>	<p>60万円以内 利率 年 1.66%（令和2年3月現在） ※ビューファイナンスおおさか 限定金利 の事前に市町村の連絡相談窓口又は府教育庁教育振興課高等学校課生徒指導グループで相談を受けることが必要です</p>

その他の奨学金制度や各制度の詳細については、

大阪府教育委員会のホームページ

大阪府 奨学金について

検索  でご覧いただけます。

私立高校等の場合、就学支援金、授業料支援補助金の給付対象となる場合であっても、給付前に納期が到来する授業料等については、いったん納付する必要があります。

【お問い合わせ先】  
○大阪府教育庁教育振興課高等学校課生徒指導グループ  
電話 06946-7599（平日の午前9時～午後6時）  
○各市町村の連絡相談窓口  
お住まいの市町村にお問い合わせください

奨学金制度は、先輩から返還されたお金を財源として、新たな奨学生に貸与していく制度ですので、利用する場合はしっかりとした返還計画を立ててください。



